



フードバンクちは通信

フードバンクちは 〒260-0835 千葉市中央区川崎町 60 (花の駅そが内)

515 千葉県
フードバンク団体連絡会

千葉県内でのフードバンク活動の 円滑な活動を推進します。

Vol.28

2024年
7月発行



CONTENTS

- ① 11周年イベント&千葉県
フードバンク団体連絡会設立
総会開催
- ② 休眠預金を活用した「千葉県
におけるフードバンクの中核
的プラットフォーム構築事業」
- ③ 食品ロス削減をきっかけ
にフードドライブを通じて生
活困窮の現状を知る機会へ
- ④ 支援機関への食品提供、
学生や被災地への支援も
継続して行っています。
- ⑤ 2023年度実績報告
- ⑥ 地域コミュニティづくりも
緩やかに進めていきます。

現在の支援状況

2024年4月~6月までに
提供した食品

団体: 約**8.1**トン
(のべ113件)

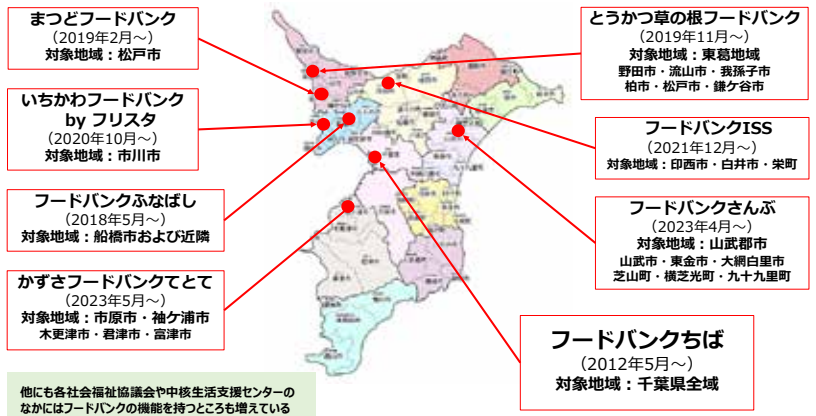
個人: 約**3.7**トン
(のべ478件)

内訳: お米・調味料・パス
タ・そうめん・缶詰・菓子・
飲料・災害備蓄品など

11周年イベント&千葉県フードバンク団体連絡会設立総会開催

2023年8月11日にパルシステム千葉の地域活動施設「パルひろば☆ちば」にて11周年のイベントを開催しました。活動報告に続いて、全国フードバンク推進協議会代表理事米山氏に「全国のフードバンクの動向について」のご講演をいただきました。コロナ禍以降全国的にフードバンクの需要が高まっていること、それに伴い地域内での支援の連携が進んでいること等、フードバンク活動の現状について大変わかりやすくご説明いただきました。その後、千葉県内のフードバンク団体同士の情報交換・相互交流を目的にフードバンク活動を発展させていく基盤として「千葉県フードバンク団体連絡会」の設立総会を開催しました。県内8つのフードバンク団体の活動紹介を受けて、千葉県健康福祉指導課課長始関氏からは、今後の連絡会への期待と支援体制の検討についてご意見をいただきました。まずはお互いの活動を知ること重点を置き、それぞれの団体の視察も兼ね、定例会の会場を持ち回りで実施。10月には先進的な取り組みを行っている「フードバンク山梨」の見学、今年2月には「コープみらいフェスタ きやっせ物産展」へ活動の啓発を目的に共同出展を行いました。また、SNS等を紹介しての寄贈品の配分調整も少しずつ始まっています。フードバンクちはとしては、ノウハウの提供・地域内連携のサポート等を継続して行っていく予定です。

「千葉県フードバンク団体連絡会」構成団体



休眠預金を活用した「千葉県におけるフードバンクの中核的プラットフォーム構築事業」

業務のIT化による業務負荷の軽減・平準化—ソフト機能の強化

助成金を契機にこれまで手を付けられずにいた業務の見直しをを行うことができました。オリジナルのアプリの作成等を通じて、フードバンクちば全体を俯瞰的に見直すことができたことも大きな成果でした。

「寄贈」「提供」双方の食品取扱量増加に対応するためのIT化により、ルーティン業務の負荷軽減

● オリジナルアプリを起点とするシステムの導入

入口から出口までを管理できる仕組みの構築を目指し、寄贈申込み・食品配送申請フォームをアプリに連動させ、さらに郵便局のシステムとも連携し、宅配便の送付状まで出力できるように設計しました。iPadとパソコンを併用して運用します。また、集計ツールを活用することで、これまで手作業で行っていた様々な集計作業が簡単にできるようになるため、根本的な作業効率化を実現することが可能となります。今回の開発は株式会社エイジスに全面協力いただき実現しました。今後は運用の大きな変更への対応とこれまででなかった固定費の増加が課題となります。



オリジナルアプリはiPadとパソコンを併用して運用

● ホームページのリニューアル

ホームページのリニューアルにあたっては、情報発信・協力要請・支援依頼等、フードバンクちばの活動をわかりやすく伝えることを心がけ、内容を一新しました。寄贈申込み・食品配送申請・食品引取り予約フォームを搭載し、電話・メール対応の負担を軽減。ネット決済の仕組み（構築中）を導入し、新たな支援者層に向けて寄付獲得も目指します。



カゴ車ごと移動ができるため、レイアウトの変更も簡単にできるようになりました。

● 食品管理の効率化

実際の現場での食品の管理の仕方を棚による固定式からカゴ車を使った移動式へ見直しました。カゴ台車に棚板をつけ、コンテナを引き出し状にして使用することで、賞味期限や食品の種類ごとの入れ替えも簡単にできるようになりました。重たいものの移動や積み込みにかかるスタッフやボランティアの方々の負担軽減を大幅に図ることができました。また、実態を把握しづらいフードドライブ品（家庭や職場から寄贈される様々な食品）の在庫は、コンテナの数を棚卸し方式でアプリに入力することで、賞味期限や品目ごとの数量の把握ができるようになりました。

物流サテライト拠点の整備—ハード機能の強化

県内でも地域によって、食支援のニーズは大きく異なります。拠点の整備対象である3エリアについても異なる条件下で全く違う運営形態となり、様々な経験値を得ることができました。県内の拠点づくりは始まったばかりです。地域団体が無理なく運営できる地域ニーズに合った拠点づくりを今後も進めて行かなければなりません。

物流サテライト拠点の設置・整備

● 北西部拠点「おとなりさん」

テスト拠点として、母体法人が運営する社会連帯活動（子ども食堂・フードパントリー・居場所カフェ・シェルター事業等）と連動させながら拠点の運営に関してのノウハウを得ることができました。

● 北総・九十九里拠点「フードバンクさんぶ」

以前から食支援を行っているNPO法人リンクに運営協力団体を依頼。既存の倉庫の拡充、すでに構築された地域ネットワークを活用し、食品を分配。ガイドライン類の提供、該当エリアの資源の共有を行い、拠点機能の整備



北総・九十九里拠点「フードバンクさんぶ」と生活協同組合の地元センターとの調整にあたりました。

をサポートしています。地元限定フードドライブも定例化しつつあり、地域密着型フードバンクとしてさらなる発展が期待できます。

● 南房総拠点（2024年夏開所予定）

地域に根付いて活動している多様な団体に協力を仰ぎ、協議体での運営を目指しています。話し合いを重ね、地域ニーズの掘り起こしから、ビジョンの共有、役割分担、場所の選定等、実際の拠点設置に向けて準備中です。「必要な時に、必要な場所に、迅速に柔軟に食品を届けられる拠点」をコンセプトに地域に根ざした運営の定着を目指します。



南房総拠点設置のための検討会の様子。この日は館山市社会福祉協議会を会場に食品の仕分け体験も行いました。

サテライト拠点となる地域の中で、フードバンク活動への協力体制をつくる

サテライト拠点の運営協力団体を社会福祉協議会、中核地域生活支援センター、子ども食堂、地域NPO団体等公的機関も含めたさまざまな団体や個人に対して呼びかけ、フードバンク活動への理解協力に向けた検討会や学習会、体験会を実施。本事業の意義や目的について共有を図りました。本事業終了後の運営体制や財源等についても提案を行い、持続可能な地域拠点づくりを目指していきます。

中核的フードバンクのプラットフォーム機能の充実



県全域を対象に多様なステークホルダーとの連携・協働を進めてきました。これまでの連携先との関係性を深化させ、さらに新たに企業や大学、県等とのつながりも生まれました。県内の生活協同組合とフードバンク団体による連携事業、千葉銀行と千葉県社会福祉協議会との三者連携協定、損保ジャパンが千葉県に貢献する取り組みを行う組織「ONE千葉」、ちば産学官連携プラットフォーム、千葉ロータリークラブ等、企業や団体の担当者とコミュニケーションを図りながら良好な関係性を継続してきました。これまでネットワーク化ができていなかった県内のフードバンク団体の連携・

協働関係も千葉県フードバンク団体連絡会の設立で実現することができました。千葉県として2023年度に初めて実施されたフードバンク団体への補助事業をきっかけに団体連絡会との交流も始まっています。

双方向のプラットフォームとして、様々な団体がアクセス・情報交換・連携できるネットワークの拡大

10周年記念をはじめ多くのイベントや学習会を開催。視察の受け入れやボランティア体験会を通して、定期的にフードバンク活動に取り組んでくださる企業や団体、学校等も多くなりました。新規フードバンクや子ども食堂、フードパントリーからの相談・立ち上げ支援等も行い、地域の中の資源との連携も進めています。

バックボードやロールスクリーン、イベント用ビブス・ウィンドブレイカー等を作成し、贈呈式や各種イベント、被災地支援等で活用。活動のPRや啓発の場での視覚的なアピールにも力を入れ、ホームページ等のデザインもロゴマークの「おたまちゃん」を前面に出すことでイメージを統一して、認知度を高める工夫もしました。

また、隣接する公園を活用した地域コミュニティづくり事業とのつながりから、地元企業や団体との連携も広がりました。大学や高校、福祉系団体等は公園ボランティアからフードバンク活動へ関心を持っていただくようになり、双方への参加に発展しています。



プラットフォームから生まれる新たな展開

食品ロス削減をきっかけにフードドライブを通じて生活困窮の現状を知る機会へ

社会的に食品ロス削減が推進される中、さまざまな団体がフードドライブに取り組んでくださっています。一方で千葉県でも生活困窮の問題は深刻化しています。食品ロス削減をきっかけに生活に困窮している方々の現状も知っていただくことで、さらに支援の輪が広がっています。支援が必要な方々の役に立ちたい！という思いが、フードバンク活動の大きな原動力になっています。

**第33・34・35回フードドライブにご協力いただきありがとうございました。
第33回 (5~6月) 8.8トン・第34回 (9~10月) 16.6トン・第35回 (1~2月) 13.6トン**

この間進めてきた「地集地配」の取り組みがコロナ禍以降広がっており、フードバンクちばが主催する年3回の定例フードドライブで回収した食品の約70%が回収窓口を通じて地域の生活困窮者や子ども食堂等の地域活動団体に還元されるようになってきました。また、我孫子市、市川市、市原市、木更津市、君津市、佐倉市、富里市、成田市、松戸市、八街市、四街道市等の社会福祉協議会では、フードドライブの回収窓口を設置するだけでなく、独自でフードバンク事業を実施したり、フードパントリー活動等に取り組んでいます。

● 今後のフードドライブの予定

第36回フードドライブ 2024. 5/20 (月) ~ 6/28 (金)

第37回フードドライブ 2024. 9/17 (火) ~ 10/31 (木)

第38回フードドライブ 2025. 1/20 (月) ~ 2/28 (金)



**フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン
『いのちをつなぐフードドライブ』 11.8トン (2023年度)**

2023年も9月から11月にかけて、千葉県内の4つのフードバンク(フードバンクふなばし、とうかつ草の根フードバンク、いちかわフードバンク by フリスタ、フードバンクちば)と6つの生協(パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、なのはな生協、千葉県庁生協、千葉県生活協同組合連合会)が連携してキャンペーンを実施。今後は県内生協と千葉県フードバンク団体連絡会との取り組みとして継続していきます。

千葉ロータリークラブフードドライブ 546.6kg (2023年度)

地元企業が数多く所属する千葉ロータリークラブでは、フードバンクへの支援をクラブの活動の1つとして位置づけていただいています。フードドライブの取り組みを入口にクラブの枠を超え、所属企業の独自活動へと広がっています。

- ご協力いただいた企業
- 旭建設(株)・NTT 東日本電信電話(株)・(株)かんぼ生命保険・(株)京葉銀行・京葉段ボール工業(株)・(株)向後構造設計事務所・東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社・社会福祉法人翠岳会・(株)竹中工務店・(株)千葉銀行・(株)千葉興業銀行・(株)千葉マツダ・東京電力パワーグリッド(株)・フジセイコー(株)・フィデス(株)・(株)レプコ

企業独自の強みを生かした取り組み

株式会社イトーヨーカ堂 2357.4kg (2023年度)
2022年度より、県内4店舗(八千代、津田沼、幕張、蘇我)での常設フードドライブを開始。フードバンクちばに近い蘇我店に他3店舗の食品を集約していただいています。2年目に入り周知が進み、回収量も増加しています。

株式会社銚子丸 1381.9kg (2023年度)
銚子丸全店舗展開でのフードドライブも3年目を迎え、寄贈量も着実に増加しています。2023年にはオリジナル米500kgのご寄贈もいただきました。



フードバンクの支援に必要な商品をセレクトした「まごころセット」(パルシステム千葉)、「たすけあいセット」(生活クラブ生協)という商品を展開し、各生協から直接寄付する取り組みが始まりました。



社会福祉法人翠岳会では、毎月のイトーヨーカ堂で集めていただいたフードドライブ品の回収日に合わせて引き取りから仕分けまでの一連の作業をお手伝いいただいています。



フジセイコー株式会社からは、周年記念の一環で多額の寄付をいただき、千葉県の補助金も活用して精米機を購入しました。精米機の手配・設置、メンテナンスまでご支援いただいています。

株式会社ミスターマックス・ホールディングス

全国28店舗でフードドライブを開催。県内3店舗(新習志野、おゆみ野、美浜)で定期フードドライブを開始。回収品は宅配便で配送していただいています。

大多喜ガス株式会社

千葉市緑区、八千代市のショールームにて常設でフードドライブを開始。独自に子ども食堂も開催されています。

ダイハツ千葉販売株式会社

オーナーイベントにて参加費の代わりに食品を寄贈という新しいフードドライブの形をご提案いただきました。

銚子信用金庫

冬のメイン企業の社会貢献活動としてフードドライブを実施、あわせてイオンモール銚子でも銚子市のブースを使ってイベントを開催。集めた食品は地元支援団体とフードバンクちばにご寄贈いただきました。

株式会社千葉ステーションビル

同社が運営する海浜幕張・稲毛海岸・検見川浜の3駅にて昨年に引き続き、ステーションフードドライブ実施。今回は3駅同時開催や単日開催ではなく、複数日での長期開催、改札横にボックスを設置する等、回収量を増やすための試みをしていただいています。



千葉ジェッツふなばし

4/27日(土)、28日(日)に千葉ポートアリーナで行われた宇都宮ブレックス戦でフードドライブを開催いただきました。

ジェフユナイテッド市原・千葉

2023 明治安田生命 J2 リーグホームゲーム第17節栃木SC戦・第36節ベガルタ仙台戦・第40節いわきFC戦にてフードドライブを実施。またユース選手の社会体験ならびに地域連携の取り組みとしてボランティアとして寄贈品の仕分け作業等も継続していただいています。



ジェフユナイテッド市原・千葉のユース選手によるボランティア活動も継続的な取り組みとして位置づけられています。

● 2023年度もたくさんの企業・団体が継続してフードドライブに取り組んでくださいました。

- 千葉県循環型社会推進課・千葉市廃棄物対策課・アロマルシェ・イオンモール幕張新都心・イー・シー・エス債権管理回収株式会社・カーブスジャパン・JAL サンライト・JFEスチール労働組合・JR蘇我駅・正覚院・末日聖徒イエス・キリスト教会 おゆみ野ワード・損害保険ジャパン株式会社・株式会社ダイエー(グルメシティ千葉中央店)・千葉県国際交流センター・千葉県信用保証協会・千葉県ママさんバレーボール協会・千葉フード連合(ヤマサ醤油労働組合、石井食品労働組合・TaKaRa労働組合・合同酒精労働組合 他)・生長の家千葉教区緑総連・天台宗北総仏教青年会・なごみの陽訪問看護ステーション・日本郵政グループ労働組合・富士通株式会社 ChibaHub・妙宣寺・UA ゼンゼン千葉県支部・ユニモちはら台・ティップネス蘇我・明治安田生命保険相互会社千葉支社 他

支援機関への食品提供、学生や被災地への支援も継続して行っています。

ちば産学官連携プラットフォームとの大学生支援プロジェクト

昨年は年間4回実施し、のべ1,500食分を10大学の学生に配布しました。ボランティア活動や大学の授業を通じて食品ロスの現状や生活困窮の問題について考える機会も提供しています。トヨタネッ



ツ千葉の耕作放棄地再生プロジェクトで収穫したお米の提供等新たな連携も生まれました。

被災地への支援

能登半島地震の被災地への支援に参加しています。長期的な支援を見据えて全国フードバンク推進協議会が石川県穴水町に開設した拠点へも継続的に支援を続けていきます。



被害の甚大だった穴水町の活動拠点の様子

2023年度の食品の支援および寄贈実績をご報告いたします。

【支援量】90.2トン (前年比91% ↓) 【寄贈量】106.3トン (前年比85% ↓)

団体 のべ 451団体 171.4トン (前年比88% ↓) 団体 のべ 181団体 48.2トン (前年比65% ↓)

個人 のべ 2310件 18.2トン (前年比100%) 個人 (団体フードドライブ含) 58.1トン (前年比113% ↑)

その他 0.6トン (内フードバンクちばへの持ち込みおよび送付 のべ368件 3.8トン)

2023年度も団体や企業からたくさんのご寄贈をいただきました。

| 【主な寄贈団体】(敬称略・50音順) (注)公表を希望されない団体・企業様については、こちらには掲載しておりません。 | | | | | |
|--|----------------|-----------|---------------------|----------------|-----------|
| アサヒグループ食品株式会社 | フリーズドライ食品 他 | 225.1 kg | 株式会社大樹スポーツサロンDAIKI | 飲料 | 505 kg |
| 旭食品株式会社 | レトルト食品、乾物 他 | 121.5 kg | 大鵬薬品工業株式会社 | 栄養補助食品 | 650 kg |
| 株式会社アサヒセキュリティ | 防災備蓄食品 | 121.6 kg | 株式会社千葉銀行 | 米、防災備蓄食品 他 | 620.7 kg |
| イオントップバリュ株式会社 | 防災備蓄食品、缶詰 | 43.2 kg | 千葉県市町村総合事務組合 | 防災備蓄食品 | 184 kg |
| 石井食品株式会社 | 惣菜レトルト食品 | 27.8 kg | 千葉県中古自動車販売商工組合 | 防災備蓄食品、飲料 | 152.5kg |
| 一富士フードサービス株式会社 | 防災備蓄食品 | 19.2 kg | 千葉市立海浜病院 | 防災備蓄食品 | 456.2kg |
| 伊藤ハム米久ブランド株式会社 | 防災備蓄食品、缶詰、飲料 他 | 4612.3 kg | 千葉市 | 海苔、レトルト食品 他 | 327.5kg |
| 株式会社今半船橋工場 | 惣菜 | 59.4 kg | 株式会社千葉ステーションビル | 缶詰 | 16.5kg |
| 印西市役所 | 防災備蓄食品、粉ミルク | 254.2 kg | 月島ジェイテクノメンテサービス株式会社 | 防災備蓄食品 | 221.5 kg |
| ウエルビー千葉駅前第2センター | 防災備蓄食品 | 54.5 kg | 株式会社つなぐファーム | レトルト食品 | 75.1 kg |
| 株式会社H.M.マーケティングリサーチ | 防災備蓄食品 | 48.8 kg | 株式会社テルヴィス | 調味料、シリアル | 1037 kg |
| エステ・スクエア青葉の森管理組合 | 防災備蓄食品 | 58.5 kg | テルウィル東日本株式会社 | 防災備蓄食品 | 426.2 kg |
| NX商事株式会社千葉営業センター | 防災備蓄食品 | 75.2 kg | 東京ガス株式会社 | 防災備蓄食品、缶詰、飲料 他 | 2637.7 kg |
| 株式会社NTTネクシア | 防災備蓄食品 | 23.1 kg | 東方地所株式会社 | 米 | 650 kg |
| NTT東日本 | 防災備蓄食品、缶詰 | 801 kg | 株式会社ドコモCS | 防災備蓄食品 | 20.4 kg |
| エヌ・ビー・ワイ株式会社 | 米 | 270 kg | ネットトヨタ千葉株式会社 | 米 | 120 kg |
| 株式会社荏原エリオット | 防災備蓄食品 | 134.4 kg | 株式会社永谷園ホールディングス | フリーズドライ食品 他 | 241.2 kg |
| エフエムジー&ミッション株式会社 | レトルト食品 | 87.1 kg | 株式会社ニッポン | 飲料 | 50.8kg |
| 財務省関東財務局 | 防災備蓄食品、缶詰 | 143.2 kg | 一般財団法人日本海事協会 | 防災備蓄食品、缶詰 | 266 kg |
| 京成電鉄株式会社 | 防災備蓄食品 | 25.6 kg | 日本生活協同組合 | 食品各種 | 502 kg |
| KODI 株式会社東関東総支社 | 防災備蓄食品 | 11.5 kg | 日本生命保険相互会社 | 防災備蓄食品 | 3574.2 kg |
| 株式会社京葉銀行 | 防災備蓄食品 | 305.9 kg | 株式会社ネクサス | 飲料、菓子 | 19.6 kg |
| 鴻池運輸株式会社 | 防災備蓄食品、飲料 | 19.5 kg | 株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング | 防災備蓄食品 | 213.6 kg |
| コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 | 飲料 | 3984 kg | パナソニック産機システムズ株式会社 | 食品見本市展示品 | 990.8 kg |
| 生活協同組合コープみらい | 米 | 7815 kg | 株式会社分福 | 調味料 | 388.1 kg |
| KOMOREBI TRADING株式会社 | ジャム | 185 kg | 株式会社ホンダカーズ千葉本社 | 防災備蓄食品 | 21.2 kg |
| 株式会社さかいまちづくり公社 | 米 | 15 kg | マブチモーター株式会社 | 防災備蓄食品 | 333.1 kg |
| JR東日本蘇我運輸区 | 防災備蓄食品 | 46.8 kg | 丸善石油化学株式会社 | 防災備蓄食品 | 320 kg |
| JR海浜幕張駅 | 栄養補助食品 | 24 kg | 株式会社みたぎ米穀 | 防災備蓄食品 | 21 kg |
| JEF環境テクノロジー株式会社 | 防災備蓄食品、缶詰 | 186.5 kg | 三井住友海上火災保険株式会社成田支社 | 防災備蓄食品 | 41.7 kg |
| JFEコンテナ株式会社 | 防災備蓄食品 | 39.6 kg | 株式会社美浜フーズ千葉工場 | 防災備蓄食品 | 68.3 kg |
| JFEスチール株式会社 | 防災備蓄食品、栄養補助食品 | 167.8 kg | 明治ホールディングス株式会社 | 菓子、レトルト食品 | 292.2 kg |
| 社会保険診療報酬支払基金 | 防災備蓄食品、レトルト食品 | 225 kg | モランボン株式会社 | 防災備蓄食品、惣菜用調味料 | 236.1 kg |
| 食とみどり・水と環境を守る千葉県会議 | 米 | 56 kg | モンテ物産株式会社 | 調味料、菓子 | 1030 kg |
| 株式会社セーフティ | 防災備蓄食品 | 31.3 kg | ヤマサ醤油株式会社 | 調味料 | 1537 kg |
| ZoneSTUDENTBOOSTER | 飲料 | 216 kg | 株式会社ローソン | 菓子、レトルト食品 | 579.2 kg |

2023年度 フードバンクちばはサポート会の皆さまに支えられています。

- 【個人会員】94名
【団体・法人会員】76団体 (敬称略)
- 社会福祉協議会**
- 旭市社会福祉協議会
 - 我孫子市社会福祉協議会
 - いすみ市社会福祉協議会
 - 市川市社会福祉協議会
 - 市原市社会福祉協議会
 - 印西市社会福祉協議会
 - 浦安市社会福祉協議会
 - 鎌ヶ谷市社会福祉協議会
 - 鴨川市社会福祉協議会
 - 君津市社会福祉協議会
 - 神崎町社会福祉協議会
 - 栄町社会福祉協議会
 - 佐倉市社会福祉協議会
 - 山武市社会福祉協議会
 - 酒々井町社会福祉協議会
 - 芝山町社会福祉協議会
 - 袖ヶ浦市社会福祉協議会
 - 多古町社会福祉協議会
 - 東金市社会福祉協議会
 - 東庄町社会福祉協議会
 - 富里市社会福祉協議会
 - 長柄町社会福祉協議会
 - 習志野市社会福祉協議会
 - 成田市社会福祉協議会
 - 野田市社会福祉協議会
 - 富津市社会福祉協議会
 - 松戸市社会福祉協議会
 - 南房総市社会福祉協議会
 - 八街市社会福祉協議会
 - 八千代市社会福祉協議会
- 中核地域生活支援センター・生活困窮者自立相談等相談機関関係団体**
- 柏市地域生活支援センターあいネット
 - 特定非営利活動法人ちば地域生活支援会
 - 特定非営利活動法人長生夷隅地域のくらしを支える会
 - 社会福祉法人福祉楽団
 - 社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
 - 流山くらしサポートセンターユーマネット
 - 特定非営利活動法人リンク
- 生協関係団体**
- 生活協同組合コープみらい
 - 生活協同組合バルシステム千葉
 - 千葉県生活協同組合連合会

- 企業**
- 株式会社千葉ケイテック
 - 株式会社銚子丸
 - 株式会社ライフ食品研究所
- その他の団体**
- 一般社団法人大浦事務所
 - さくら・市民ネットワーク
 - 社会福祉法人生活クラブ
 - 税理士法人税務総合事務所
 - 千葉県協同組合提携推進協議会
 - 千葉友の会
 - フード連合千葉地区協議会
 - NPO プライト
 - 明治大学政治経済学部
 - U Aゼンセン千葉県支部
 - 一般社団法人労働者社会福祉協議会
- 福祉施設・子ども食堂関係団体**
- 社会福祉法人あひるの会 あかね園
 - 乳児院イーハトーブ
 - おむすび食堂
 - かいじん子ども食堂
 - 鴨川みんな食堂
 - 木更津みなと口こども食堂
 - キタナラ子ども食堂
 - 畑沢子ども食堂
 - 社会福祉法人習愛会花の美園
 - 富津子ども食堂 きみはま さっちゃん食堂
 - ふなばし子ども食堂ネットワーク
- 千葉ロータリークラブ会員企業**
- 旭建設 旭建設株式会社
 - 京葉美装 株式会社京葉美装
 - 株式会社向後構造設計事務所
 - 医療法人社団真葉会さくらい歯科医院
 - 社会福祉法人翠昂会
 - SOU セレモニー株式会社
 - 大成建設 大成建設株式会社
 - 藤海ビルサービス株式会社
 - フィデス株式会社
 - フジセイコー株式会社
 - 株式会社レプロコ

2023年度 たくさんのご寄付・助成金をいただきました。

【寄付：団体・企業】(敬称略) 135.5万円 【主な助成金】

株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー 休眠預金活用助成 (3年目) 1094万円

株式会社日本資産総研・立正佼成会 千葉教会 他 千葉県フードバンク活動物価高騰対策支援事業補助金 100万円

【寄付：個人】 82件 237.7万円 千葉県フードバンク支援緊急対策事業補助金 99万円

赤い羽根共同募金助成 50万円

地域コミュニティづくりも緩やかに進めていきます。



第4回「わくわく体験 まちづくりin ちば」の様子

等の近隣地域の企業にもご協力いただくことができました。公園で育てた草木を使った工作やアートパフォーマンス等、公園だからこそ楽しめる企画も好評でした。花の駅そが公園が地域の居場所として、多くの人達の交流の場となるよう、これまでのつながりを大切にして今後もイベント開催等を継続して行っていきたくと思っています。公園の活用に興味・関心のある方、こんなことをしてみたい等ご意見やアイデアも募集中です。



花の駅そが公園を中心に行ってきた「SDG'sを活かした地域コミュニティづくり」事業の基盤となったCO・OP共済 地域ささえあい助成が終了。助成期間の3年間でコミュニティガーデンづくりや自主開催イベントを通じて、バルシステム千葉、淑徳大学、近隣の企業や子ども食堂、障がい者団体、定時制・通信制高校等も巻き込んで多様な団体や様々な人達の協同・交流が生まれました。今年3月に行った「第4回

わくわく体験 まちづくりin ちば」では、株式会社LIXILトータルサービス、イトーヨーカドーアリオ蘇我店、JR蘇我駅

TOPICS

～フードバンクちば×NTT 東日本千葉事業部～ 2024福島ひまわり里親プロジェクト

NTT東日本グループでは、福島復興支援・福祉施設での雇用創出促進の一環として、福島発のひまわりを育てて、収穫した種を福島の還元する「福島ひまわり里親プロジェクト」に2014年度より参加。今年も花の駅そが公園でひまわりを育てていただきました。今年も夏はたくさんのひまわりの花が公園を彩ってくれることでしょうか。今から楽しみです！



食品が余ってませんか。もったいない食品大募集中!!!



ご寄贈いただきたい食品

主食になるもの

- ・お米、バックごはん
- ・乾めん
- ・おもち
- ・ロングライフパン
- ・防災食 など



レトルト食品

- ・カレー
- ・牛丼・中華丼の具
- ・おでん
- ・常温で保存可能な調理品



インスタント食品

- ・カップめん
- ・袋めん
- ・粉末スープ・みそ汁
- ・フリーズドライ品 など



缶詰・瓶詰



ベビーフード

飲料

調味料

お菓子

その他の食品

- ・乾物
- ・粉物
- ・贈答品（お歳暮・お中元等）
- ・各種防災食 など

注意いただきたい点

- 1 賞味期限が明記され、かつ1ヶ月以上あるもの

賞味期限は、フードバンクちばに寄贈時点での目安です。フードドライブ等外部の回収窓口では、その限りではありません。通常2〜3ヶ月以上で設定いただいています。

- 2 常温で保存が可能なもの

- 3 未開封であるもの

- 4 破損で中身が出ていないもの

- 5 お米は前年度産まで

※ 玄米の場合は、そのまま保管するため精米の必要はありません。

※ 30kgのお米は運搬や移動に負担がかかるため、可能であれば寄贈される際に20kg・15kg・10kg等に分けていただくと大変助かります。

お預かりできない食品

● 生鮮食品

日持ちする根菜類や果物については時期・種類・量等によって受け入れが可能な場合もありますのでご相談ください。

● 冷凍・冷蔵品

● 医薬関連食品

各種サプリメントやプロテイン等

● アルコール類

● ペットフード



エンシュアリキッド（経腸栄養剤）は処方箋が必要なため支援には使うことができません。

「フードバンクちばサポート会」入会のご案内

フードバンクちばの活動は、サポート会費や寄付に支えられています。ぜひサポート会への入会および寄付をご検討いただき、財政面からのバックアップをお願いいたします。

<サポート会入会方法>

郵便局の振込用紙の備考欄にお名前と連絡先、個人・団体のいずれかを明記し、下記口座に会費をご入金ください。

● 会費

個人サポート会員：1口2,000円/年（1口以上）

法人・団体サポート会員：1口10,000円/年（1口以上）

会費納入先

● 郵便振替口座

口座番号：00160-8-486977

口座名義：フードバンクちばサポート会

● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行

種別：当座 支店名：〇〜九店

口座番号：0486977

口座名義：フードバンクちばサポート会



入会特典の缶バッジ

<ご寄付のお願い>

● 郵便振替口座

口座番号：00150-2-652117 口座名義：フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動へ参加してくださる方を随時募集しています。フードバンク活動についての詳細等はホームページをご覧ください。各種お問い合わせは、「よくある質問」をご確認の上、お問い合わせフォームよりご連絡ください。



<http://foodbank-chiba.com>

☎ 043-301-4025 平日 10:00~17:00 ☎ 043-301-4026

※ スタッフ不在の場合は留守番電話にメッセージをお伝えください。

フードバンクちば 〒260-0835 千葉市中央区川崎町 60（花の駅そが内）

